

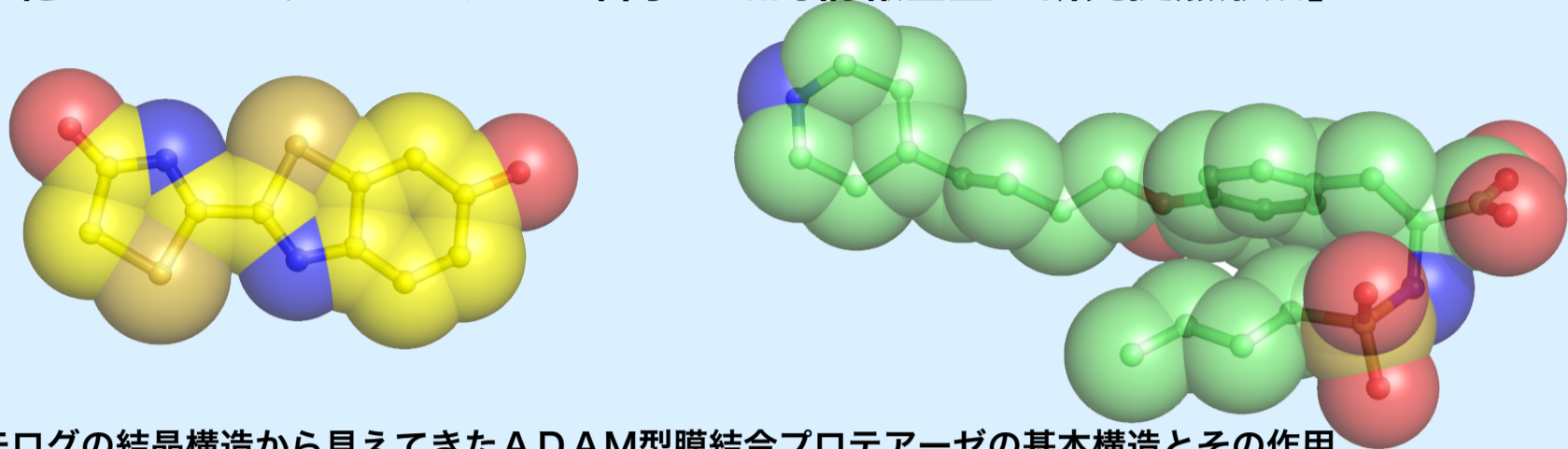
# 第5回 ケモゲノミクス研究会

## 「構造生物学の新潮流－立体構造から機能そして創薬へ」

日程：2006年5月20日（土）13:00～17:45（参加費無料）

場所：京都大学薬学部記念講堂（薬学本館2階）

主催：京都大学21世紀COEプログラム「ゲノム科学の知的情報基盤・研究拠点形成」



13:00 — 13:45 蛇毒ホモログの結晶構造から見てきたADAM型膜結合プロテアーゼの基本構造とその作用

武田壮一（国立循環器病センター・研究所）

13:45 — 14:30 多剤排出トランスポーターの結晶構造と薬剤排出メカニズム

村上 聡（阪大・産研）

14:30 — 15:15 アクアポーリンの二次元結晶化と電子顕微鏡による結晶構造解析

光岡 薫（産総研・生物情報解析研究センター）

15:15 — 15:30 休憩

15:30 — 16:15 血小板インテグリン  $\alpha IIb\beta 3$  の立体構造から解くリガンド認識の構造的基盤

高木淳一（阪大・蛋白研）

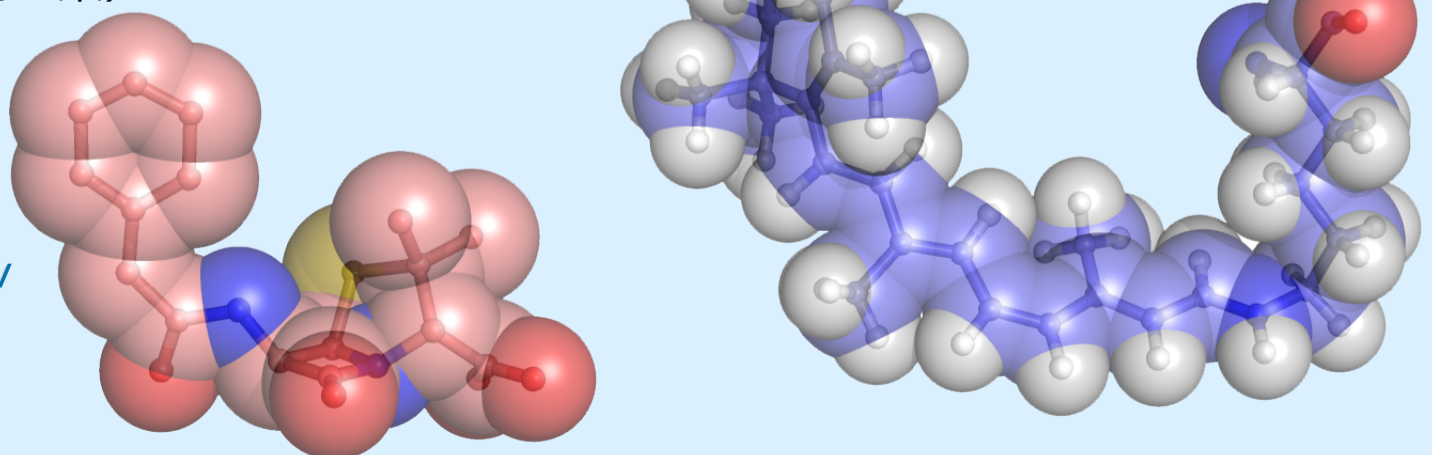
16:15 — 17:00 ハイブリッド分子シミュレーションで探るタンパク質内化学反応と機能の分子機構

林 重彦（京大院・理）

17:00 — 17:45 ゲンジボタル・ルシフェラーゼの発光色制御機構

中津 亨（京大院・薬）

 Kyoto University  
21st Century COE Program  
Genome Science  
<http://www.bic.kyoto-u.ac.jp/COE/>



◆懇親会：午後6時より行います。懇親会費 ¥3,000 は当日会場にて受付けます。

◆アクセス：京阪丸太町駅下車徒歩約10分

◆参加受付：懇親会参加の有無を明記の上、京都大学大学院薬学研究科構造生物薬学分野

(STRUCTBL@pharm.kyoto-u.ac.jp) までお申し込み下さい。多数のご参加をお待ちしております。

◆世話人：加藤博章（京都大学大学院薬学研究科）TEL:075-753-4617, FAX:075-753-9272